



# 議会だより

No. 186  
平成26年8月

## 第2回 定例会

## 新幹線関係付道新設工事 補正予算を可決

平成26年第2回定例会は、6月17日に招集され、会期を19日までの3日間と決め開催されました。

平成26年度一般会計補正予算、条例の一部改正など同意1件、議案8件、諮問2件、報告2件を審議しました。

一般質問では7人の議員が質問に立ち、町政に対する理事者の考えを質したほか、議員提出議案の意見書や農業委員会委員の推薦など原案どおり可決しました。

### 審議結果

区 分	結果	番 号	議 件 名 等	継続審査・調査・その他	
議 案	条例改正	◎ 議案第32号	七飯町下水道設置条例の一部改正について		
	補正予算	◎ 議案第37号	平成26年度七飯町一般会計補正予算（第2号）		
		◎ 議案第38号	平成26年度七飯町下水道事業特別会計補正予算（第2号）		
		◎ 議案第39号	平成26年度七飯町土地造成事業特別会計補正予算（第1号）		
		同 意	同意第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	
	人 事	可	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	
		可	諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	
		◎ 議案第33号	冬トピア団地86-2棟長寿命化改修建築主体工事請負契約について		
	そ の 他	◎ 議案第34号	財産の交換について		
		◎ 議案第35号	北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の変更に関する協議について		
◎ 議案第36号		北海道市町村総合事務組合理約の変更に関する協議について			
報告済		報告第4号	平成25年度一般財団法人北海道大沼国際交流協会事業報告及び決算報告について		
発 議 案	意見書等	◎ 発議案第4号	義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2015年度国家予算編成における教育予算確保・拡充、就学保障の充実に向けた意見書		
		◎ 発議案第5号	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書		
		◎ 発議案第6号	地方自治体の臨時・非常勤職員の待遇改善と雇用安定のための法改正に関する意見書		
		◎ 発議案第7号	「手話言語法（仮称）」の早期制定を求める意見書		
		◎ 発議案第8号	地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書		
	決 定		農業委員会委員の推薦について		
そ の 他	報告済		出納検査報告		
	承 認		閉会中の委員会活動の承認について		

◎=全員一致で可決 ○=賛成多数で可決 ●=賛成少数で否決 ×=賛成なしで否決

### 主な内容

- ◇審議して決まったこと……………P.19
- ◇第1回臨時会の結果……………P.19
- ◇第2回臨時会の結果……………P.19
- ◇一般質問……………P.20
- ◇予算審査特別委員会報告……………P.23
- ◇表彰（議員15年以上）……………P.23
- ◇監査報告（例月監査）……………P.23
- ◇議員出席状況……………P.23

減らそうぶらう

# 審議して決まったこと

## 条例一部改正

### ◆七飯町下水道設置条例

特定環境保全公共下水道の面積、計画人口、計画処理数量等を変更するための改正。

施行期日は公布の日

## 補正予算

### ◆平成26年度七飯町一般会計(第2号)

新幹線関係付道新設工事、城岱牧場展望台周辺整備工事、観光ガイド育成業務委託料等、歳入歳出それぞれ1億67万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を95億5千67万6千円とした。

### ◆平成26年度七飯町下水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ40万円を追加し、歳入歳出予算の総額を10億7千410万円とした。

### ◆平成26年度七飯町土地造成事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ838万円

## 増やそう資源!

## その他

### ◆線越明許費繰越計算書について

### ◆冬トピア団地86-2棟長寿命化改修建築主体工事請負契約

契約の方法  
地域限定型一般競争入札  
契約金額  
8千636万7千600円  
契約の相手方  
松栄・カワマタ特定建設工事共同企業体

### ◆財産の交換について

古いシヨベル・ローダを下取りにして、新しいシヨベル・ローダを購入。

### ◆北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

### ◆北海道市町村総合事務組合規約の変更

## 発議案(意見書)

### ◆議員提出議案として5件の意見書を可決し、要望事項として各関係機関及び各関係大臣に送付した。

◎義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元  
「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2015年度国家予算編成における教

## 報告

### ◆平成25年度一般財団法人北海道大沼国際交流協会事業報告及び決算報告について

業報告及び決算報告について

育予算確保・拡充、就学保障の充実に向けた意見書

◎林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

◎地方自治体の臨時・非常勤職員の待遇改善と雇用安定のための法改正に関する意見書

◎「手話言語法(仮称)」の早期制定を求める意見書

◎地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書

◎「手話言語法(仮称)」の早期制定を求める意見書

◎地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書

◎「手話言語法(仮称)」の早期制定を求める意見書

◎地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書

◎「手話言語法(仮称)」の早期制定を求める意見書

樹氏を任命することに同意しました。

氏名 與田 敏樹(57歳)  
住所 函館市昭和2丁目21番38号

## 選挙

### ◆南渡島衛生施設組合議会議員の選挙

林秀樹議員の辞職により七飯町の定数に欠員が生じたので、川村主税議員が選出された。

### ◆南渡島消防事務組合議会議員の選挙

平松俊一議員の辞職により七飯町の定数に欠員が生じたので、横田有一議員が選出された。

## 人事

### ◆副町長の選任

平成26年5月13日をもって任期満了となり勇退される馬場修一氏の後任として、総務課長 宮田東氏を選任することに同意した。

### ◆教育委員会委員の任命

平成26年4月30日をもって勇退される教育委員会委員 吉田雅幸氏の後任として、農林水産課長 與田敏

### ◆七飯町議会防災・災害対策に関する調査特別委員会委員の選任

小松義光委員の辞任により委員1名の欠員が生じたことから、新しく川村主税委員が選任された。

### ◆専決処分承認

・地方税法の改正に伴う七飯町条例等の一部改正  
・地方税法の改正に伴う七飯町国民健康保険税条例の一部改正

## 補正予算

### ◆平成26年度一般会計補正予算(第1号)及び下水道事業特別会計補正予算(第1号)並びに水道事業会計補正予算(第1号)は「平成26年度予算審査特別委員会」に審査を付託した。

その審査結果は、5月23日に報告され、一般会計は、賛成多数で可決し、下水道事業特別会計及び水道事業会計は全員一致で原案どおり可決した。

(報告書は23ページに掲載)

平成26年度一般会計補正予算(第1号)及び下水道事業特別会計補正予算(第1号)並びに水道事業会計補正予算(第1号)は「平成26年度予算審査特別委員会」に審査を付託した。

道の駅の計画(建設)について

物産協議会の事務局を置いた物産館を設けたい

川村 主 税 議員

北海道新幹線の新青森・

新函館北斗間までの開業を約2年後に控え、近隣市町でも経済効果を期待し、さまざまな取組を行っていきます。

道内外より多くの人が道南に集まり、さまざまな資源がある七飯町を知ってもらう絶好のチャンスでもあります。

この七飯町が情報発信基地として、「道の駅」が公的な施設としては非常に有効ではないかと思われま

す。地元食材を使った料理の提供はもちろん、イベント会場や災害時の一時避難場所も兼ね備え、少なからず雇用の場も出来るため、地域振興を目的とする上でも十分役割を果たすものと考えます。

多くの方に来て頂き、そして七飯町を知ってもらい、更には消費してもらうことが大事です。

来て頂いた方にリピーターとなってもらい、更には次のリピーターを作ってもらくことが、人を呼び込むためには絶対必要です。

「道の駅」の計画(建設)に向けた町としての考えを伺いたい。

①平成22年第2回定例会で同僚議員が「道の駅」について一般質問されておりまして、それから4年ほど経っており、現在までの取組状況について

②北海道新幹線開業に合わせた、計画(建設)の構想について

③今までに関係官庁などの情報収集等について

町長

①北海道新幹線新函館北斗駅とのアクセスとなる峠下地区(昆布館付近)が適切ではないかと答弁させて頂いた経緯がある。新函館北

斗駅北口とのアクセスを考え、峠下流通団地での企業誘致をはじめとした国道5号線沿道での商業店舗の開

設など順調に推移している。民間活力での峠下地域を七飯町の食と観光の発信拠点とするため各関係機関や民間企業と協議させて頂

いています。②民間活力とノウハウを生

かした形で商業施設の企業誘致を進めながら「道の駅」エリアとして充実させて参りたいと考えている。

③「道の駅」エリアの整備については函館開発建設部

や渡島総合振興局また、特産品や誘致企業の情報などは、七飯大沼国際観光コンベンション協会や商工会な

どから豊かな水資源をはじめとした七飯町の資源、企業誘致補助制度の説明や

ピーアールなど今後引き続き行なって参ります。

再質問

地域振興を踏まえた公的な施設の考えについて

町長

官としての情報発信する場所が無いため、商工観光課で持っている物産協議会の事務局を置いた、物産館

を設けたいと考えています。七飯町の物産品の販売など情報発信基地機能を持つた施設としたいが、場所等

については現在、検討している所です。

公共施設へ木質系バイオマスボイラーを取り入れる事について

調査研究をしていきたい

平松 俊一 議員

町長はかねてより原子力関連、或いは東北被災地からの発生材処理に関して、環境対策の観点から、反対の立場を表明されておりま

す。自然豊かな七飯町が放射能被害や有害物質などにより環境汚染に遭わないため

に、町長が行ってきた今までの姿勢は、多くの町民から支持されてきました。

しかしCO2削減に向けた活動は、ごく限られた分野に限定されているように思われます。

町内の公共施設にあっては建設中あるいは建設予定等、今後多くの施設が毎年更新されていくことになり

ますが、環境分野の観点から施設更新に合わせて、暖房施設を木質系バイオマスボイラーに変更して行く考えがないかを伺いたい。

政策推進課長

省エネや節電に関して

は、各公共施設や太陽光発電の補助事業などで出来る

ところから取り組んでいるが、更なる取り組みが必要と

考えている。その一つとして林業に関する事業は、町内の雇用や

活性化に寄与できるものと思われるが、木材の町内における需要と供給を十分調査した上で、どのような取

り組みが望ましいのか、調査研究を行いたい。

再質問

ある近隣自治体では、町

民プールと地域コミュニティセンターの建設に合わせ

て、この木質系バイオマスボイラーを採用し、燃料チップ製造プラントも同時に施工している。全額及び半額を交付金で賄う等、当町としても見習うべき取り組みを行って

いる。町内にある木材資源が、

は、国で各種補助制度を取り揃えており、積極的に挑んでいくべきではないか。

政策推進課長

町内にある木材資源が、

各課と連携して調査研究し、森林資源の活用を進めたいと考えている。

ほかに、次の議員から一般質問が出されている。

横田 有一 議員

町補助による消費拡大のアップル商品券の効用について  
部長制導入について

減らすべし!

◎平成26年度七飯町施政方針を具体的に  
 A町民に対する愛情と信頼が「住みたいまち、住み  
 続けたいまち七飯町」の目標である

中島勝也 議員

平成26年度七飯町施政方針に基づき、次の点について伺いたい。

- ①「住みたいまち、住み続けたいまち七飯町」の最終目標は何か
- また、大間原発に関して函館市との連携は
- ②新幹線を睨み交流人口の拡大対策は
- ③新幹線対策の駅北口対策と「道の駅」設置の進展は
- ④駅北口周辺の整備には、北斗市との連携が必要であり接触はあったのか
- ⑤夢と希望と可能性の実現とは何か
- ⑥新幹線は当町に「宝物」を運んで来るとあるが、その宝物とは何か
- ⑦定住対策は緑町公営住宅跡地を造成し受け入れ体制を図るとは何か
- ⑧危機管理について、緊急時には、携帯電話で連絡可能で心配はないと答弁されているが、今でも変わらな
- ⑨ジェネリック医薬品の使用拡大と高齢者の健康維持のためにパークゴルフ場の増設の考えはないか
- ⑩東京五輪に向け、サッカー場の増設計画の具体策は

①出前町長室の要望と実績について

②納涼祭のメイン会場の固定舞台の新設について

【町長】

①町民に対する愛情と信頼だと考えている。この信頼に込める事が最終目標である。大間原発は議員会と同

②商業施設の企業誘致を考えている。

③駅北口対策は一斉考えていない。「道の駅」は設置する考えはない。

④北斗市の行政区域にあるのでどうしようもない。話し合いはなく、方向性の内容はない。

⑤夢は新幹線開業、希望はコンパクトな行政、人口の安定、可能性は安心して地元

⑥新幹線効果の地域振興に取り組んでいく。

⑦JR北海道と協議しているが、民間の力を借りて宅

⑧JR北海道所有地へのサッカー場増設に基金を活

用して進めたい。

【副町長】

⑧携帯電話も100%通じる保証もないことから特別職及び管理職が同じ会場、同じ

⑨広報誌の掲載や保険証に貼って、医師や薬剤師に利用の意思を伝えるシールを配布する。

【住民課長】

⑨町民の健康を保持するための運動施設整備を総合的に考えていく必要があり、現時点ではパークゴルフ場の増設は考えていない。

【生涯教育課長】

①防災、災害各町内会の道路、高齢者の福祉政策等が多く、要望については各課と相談して実施している。

【都市住宅課長】

②固定舞台の設置は考えていない。

◎峠下地区の真空予冷施設の改築について

A町、単独での改築は出来ません

坂本 繁 議員

平成26年度七飯町施政方針に基づき、次の点について伺いたい。

- ①「峠下地区の真空予冷施設は、現在では日本で一番古い施設となり、老朽化が著しく進んでおります。
- 生産者団体からは、施設の改修を求める声が多くあり、さらに、この施設の85%を利用しているのが七飯町の野菜農家を中心とした生産者であることから、町としての支援策について検討してまいります。」とありますが、具体的などのような計画を、そして対策を考えているのか。
- ②「耕畜連携の取組を強化し、地域住民の理解を得ながら、有機質肥料による土づくり等の循環型農業を推進し、産地の差別化、高品質で安全で安心な農畜産物の安定生産を図り農業経営

の改善に努めます。」とありますが、具体的にどのような対応、対策を考えているのか。

【町長】

①町単費での改築は出来ませんが、国の補助事業を有効活用しながらJAと協議を行って、町としての支援策について検討してまいります。

②化学肥料に頼らない土づくりとして、町内の耕種農家と酪畜農家が連携しクリーン農業を推進していくことが、結果として農業経営の改善に寄与するものと考えており、完熟堆肥施設の建設については、今後検討してまいります。



# 一般質問

## ◎公共歩廊の安全対策を

▲費用対効果を考えて鉄骨を含め撤去を考えている

上野 武彦 議員

七飯町文化センターと歴史館、駐車場をつなぐ歩行

【教育長】

通路上に風や雨、雪などを防ぐ強化ガラス製のパネルを張った施設、公共歩廊が設置されている。この屋根部分は十字形になっており、強化ガラス製のパネルが張られているが、老朽化と積雪の重みなどで、280枚のパネルの内31枚、11%が破損、撤去され穴の開いた状態となっている。

冬季間凍った雪の塊がどこから落下するかわからず、通行人の安全が保障されない状態となっている。

七飯町の管理する施設としては長期間改善もされず、放置された状態となっているが、教育長はこうした状態に対してどのように考えているのか、今後の対策などについてはどうするか見解を伺いたい。



教育委員会としては、老朽化してきた文化センターの機械設備の更新の課題もあり、費用対効果を考えたいと考えており、基本的にはガラスを全部外し、鉄骨も外してまいりたい。その残りが、それについては、構造的耐久性を検討した上で、判断してまいりたい。

議員が検討するよう求めた、屋根を円錐形にしてプラスチック製のものを張るにしても相当費用もかかると思われる。

耐久性に問題があれば、すべて撤去した上で、外灯そのものを別に建てるという方法もあり、検討して予算という形で提案をしてまいりたい。

その他、「七飯町教育行政方針におけるオール七飯学力向上アクションプラン」について、「大中小学校改築基本設計の見直し」を質問している。

七飯町における体育施設の現状は、スポーツセンターの老朽化、パークゴルフ場の不足、室内ジムやヨガなどを行うフィットネス施設がなく、町民温水プールもない状態である。

高齡化の波は避けて通ることの出来ない現実として受け止め、健康でいられる年齢をいかに伸ばすか、そのための施設整備をどうするかが課題であり、そのことが医療費の抑制や介護予防、扶助費の削減にも直接つながることとなる。

今後、健康で明るい町づくりを推進するための政策が求められることが予想される。

そこで、市街地から約3キロ離れた桜町の国有地跡にある広大用地に総合体育館、林間コース、パークゴルフ場、町民温水プール、フィットネス機能を備えた施設を政策提言する。

北海道新幹線新函館北斗駅から大型バスも立ち寄るような、道南の拠点施設を目指してほしい。

## ◎桜町の広大なガルトネルブナ林に福祉・農・文化

香る運動総合施設を

▲貴重な提言と受け止めている。この地から北海道の景気が良くなるような検討委員会を設置していく

牧野 喜代志 議員

そして、福祉、医療、文化歴史、農のある運動総合公園をあかまつクラブ（会派）を代表して政策提言するが、町長の考えを伺いたい。

緑の基本計画」において、風致公園の整備を検討するとしております。

ご質問にあるとおり総合的な体育施設の整備は、健康寿命を延ばすためには、必要な施設であると認識しており、将来的には医療費や介護給付費、扶助費の抑制になると考えます。

大変、貴重な提言と受け止め、この地から北海道の景気が良くなるような、そんなことも期待しながら、ぜひ検討委員会を設置していきたい。



【町長】

ご質問の市街地から約3キロ離れた桜町の国有地跡に総合体育館、林間コース、パークゴルフ場、町民温水プール、フィットネス機能を備えた施設についてでございますが、当該地は、ガルトネルブナ林を含む国有地であり、「七飯町



ガルトネルブナ林を含む国有地

減らすべく努力！

# 平成26年度 予算審査特別委員会報告書

委員長 横田 有一

## 増やそう資源!

### 2. 審査の経過

平成26年5月21日第2回臨時会における議決に基づき、当委員会に付託された事件について審査した結果を次のとおり報告する。

#### 1. 審査に付託された議案

- 議案第29号 平成26年度七飯町一般会計補正予算(第1号)
- 議案第30号 平成26年度七飯町下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第31号 平成26年度七飯町水道事業会計補正予算(第1号)

#### 3. 審査の結果

当委員会に付託された3議案について、慎重に審査した結果、議案第29号は賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定し、議案第30号及び議案第31号はいずれも全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定

#### 4. 付帯意見等

町理事者に次の事項について申し入れすべきと合意があったので、付帯意見等として申し入れをする。

#### 【総括的事項】

本年度の補正後の一般会計予算は、前年度予算と比較して3億5千万円、3.8%の増加となっている。増加の主な理由は、臨時福祉給付金・子育て臨時特例給付金や大中小小学校の改築事業で、地方財政状況の厳しさを反映し、5億894万8千円の基金の繰り入れを行わなければ成り立たない予算編成となっている。

予算の執行にあたっては慎重かつ効率的に執行することを望むものである。

入札の執行にあたっては、人員基準、設備基準、業務実績をふまえた業者の指名及び入札の執行を行うことを望むものである。

また、北海道新幹線の開業に伴う税収等の財源確保の試算は難しいとのことであつたが、雇用の場として多くの方に七飯町に住んでいただく努力を望むもので

した。

なお、予算執行にあたり町理事者に次の事項について申し入れすべきと合意があつたので、付帯意見等として申し入れをする。

ある。

#### 【個別的事項】

(1) 7款 商工費については、七飯町の歴史的特徴や特色を十分生かしたパンフレットやチラシの作成をし、これらのより効果的な活用方法の検討を望むものである。

また、七飯大沼国際観光コンベンション協会の運営について、北海道新幹線開業に向けて町と一体となった観光振興を推し進めることを強く望むものである。

(2) 8款 土木費については、緑町の児童公園新設にあつて今後の住宅地等の開発に十分整合性をもった配置となるよう望むものである。

なお、平成26年度一般会計補正予算を反対した委員からは、大中小小学校の改築にあたり、現場からの要望・意見の対応、改善が見られない。防災避難所としての十分な設備対応が見られないことから、十分議論を尽くしたうえで実施設計に入るべきとの意見があつた。

## 監査報告

### 例月出納検査

一般会計並びに各特別会計、水道事業会計の出納状況を次のとおり検査した。

平成26年2月分を  
3月26日、27日、28日、31日  
平成26年3月分を  
4月23日、24日、28日  
平成26年4月分を  
5月27日、28日、29日、30日

#### 検査結果

特に指摘すべき事項なし。

#### 監査委員

林 永田 英利  
秀樹

## 表彰

町村議会議員として地方自治の振興発展に寄与し、その功績が認められ、次の方々が表彰されました。

### ※北海道町村議会議長会表彰

#### 【議員 15年以上】

議員 義光 議員 松崎和枝 議員 小神横上 議員 義和 議員 光枝 議員 野武彦

### 平成26年度予算

単位：千円

区分	骨格予算	政策予算	計
一般会計	8,980,000	470,000	9,450,000
特別会計	7,209,100	150,600	7,359,700
国民健康保険特別会計	3,708,000		3,708,000
後期高齢者医療特別会計	413,000		413,000
介護保健特別会計	2,153,000		2,153,000
下水道事業特別会計	923,100	150,600	1,073,700
土地造成事業等別会計	12,000		12,000
企業会計(水道事業)	750,334	127,146	877,480
全会計合計	16,939,434	747,746	17,687,180

### 平成26年 定例会・臨時会出席状況一覧表

開会日	小松 義光	神崎 和枝	牧野喜代志	横田 有一	木下 敏	佐野 史人	林 秀樹	青山 金助	坂本 繁	川村 主税	上野 武彦	中島 勝也	平松 俊一	長谷川生人	中川 友規	日下部雅一	畑中 静一	坂田 邦彦
第1回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2回臨時会	5月21日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5月23日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2回定例会	6月17日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※判定 ○=出席、×=欠席、△=遅参・早退・中座、公=公務、忌=忌引